心臓カテーテル検査（狭心症・心筋梗塞）（3日コース）を受ける患者さんへ　　【患者さん用クリニカルパス】

ID：　　患者氏名：　　さん

| 経過 | 入　院　日（心臓カテーテル前日） | 心臓カテーテル当日（検査前） | 心臓カテーテル当日（検査後） | 3日目（退院日） |
|---|---|---|---|---|
| 日付 | 月　日（　） | 月　日（　） | | 月　日（　） |
| 目標 | 検査の内容が理解でき、検査を受けることができる。 | 予定通りに検査が終了する。 | | 退院指導の内容がわかる。 |
| 説明<br>指導<br>教育 | ・医師より検査の説明を行います。<br>・看護師が入院生活および検査の説明を行います。<br>（説明後、承諾書を記入し、提出して下さい）<br>（医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい）<br>・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。 | ・検査中ご家族の方は東6B病棟でお待ちください。 | ・医師から検査結果について説明があります。<br>・検査した手首は、強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。<br>・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。 | ・退院指導を行います。<br>・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。<br>（検査直後に行うこともあります）<br>・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。 |
| 治療<br>処置 | ・身長・体重を測ります。<br>・体温・脈拍・血圧を測ります。<br>・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。<br>・手首の動脈（正中・橈骨）の拍動を観察し印をつけます。<br>・検査に必要な部位（橈骨または大腿）の体毛を必要時剃ります。 | ・検査の前に排尿し、検査着に着替えます。<br>・1時間前に手首の表面を麻酔するためのテープを貼ります。<br>・検査前に点滴を行うことがあります。 | ・点滴を継続します。<br>・検査後1時間ごとに圧迫の空気を2mlずつ4回抜きます。<br>・4回目の空気を抜いた1時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。<br>・点滴が終了後、留置針を抜去します。 | ・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。 |
| 検査 | ・採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。<br>・心肺運動負荷試験または運動負荷試験、心臓超音波検査<br>四肢血圧脈波検査を行うこともあります。 | | | |
| 生活<br>行動 | | ・車椅子で1階のカテーテル検査室へ行きます。 | ・検査後はベッド上で安静にして下さい。<br>・1時間後には、トイレまで歩くことができます。<br>（足の付け根から行った場合は、6時間後になります）<br>・手首のバンドを外したら、自由に歩くことができます。 | |
| 清潔 | ・毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。 | | | ・傷の状態に異常がなければ入浴できます。 |
| 食事 | ・治療食となります。<br>（カロリー・塩分制限）<br>・水分に制限はありません。 | ・午前検査は朝食が出ません。<br>・午後検査は昼食が出ません。 | ・検査後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。 | |
| 内服薬 | ・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。 | | | ・退院時内服処方が出ます。 |
| 観察 | | | ・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。<br>・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。<br>・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。 | |
| その他 | ・検査の状況により、足の付け根の動脈からの検査になる可能性もあります。 | | ・検査終了後、造影剤を早く排泄するために、水分（お茶・水）を多めにとりましょう。 | |
| 備考 | ・特別な栄養管理の必要性　　有　・　無 | | | |

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
循環器内科